

事務事業No.	13-	2
事業名	水道事業会計	会計 特会
課名	上下水道課	課名
係名	工務係	係名

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	上水道施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	上水道の安定供給のため、水道施設更新計画及び経営戦略に則り、事業を着実に推進し、経営効率化や収入確保対策を行い経営基盤の安定化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・原水及び浄水費・・・水源地等施設の動力費、点検委託料、修繕費等に係る費用 ・配水及び給水費・・・公道漏水等修繕費、検針人賃金等配水及び給水に係る費用 ・総係費・・・・・・・・・・4名分人件費、電話料金等通信運搬費等に係る費用 ・減価償却費・・・・・・・・有形固定資産等の減価償却費 ・その他・・・・・・・・・・固定資産除却費、貯蔵品減耗費、その他営業費用、企業債利息 ・水道拡張費・・・・・・・・新低区配水池築造工事、その他施設更新工事 ・企業債償還金・・・・・・企業債元金償還金 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
1	水質基準達成率	100			%		100	
2	導水管、送水管更新延長	0			km		1	
3	有収率	90.1			%		90.60	
4								
5								
		令和2年度(決算)		令和3年度(決算)		令和4年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B		605,240		622,114		558,727		
財源内訳	直接事業費 A	578,840		595,714		532,327		
	うち一般財源	100,800		99,100		0		
人件費(千円) B		26,400		26,400		26,400		
内訳	一般職員(人・千円)	4	26,400	4	26,400	4	26,400	
	臨時職員(人・千円)	0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	水道施設更新計画及び水道事業経営戦略に沿った事業を進めるとともに、費用の縮減や合理化を図るため、包括委託や広域化、コンセッション方式等の選択肢の中から各施策が町民に及ぼす影響にも十分な配慮をしつつ、事業全般を見据える中で慎重に検討を進め、今後の施策を定めていく。	③取組の課題	今後、管路更新工事を実施するにあたって多額な費用が継続的に必要な中、実施できる人員、人材、施工業者が不足、官民供人材育成が必要である一方、財源である水道料金は人口減少など水需要の低下が想定され、定期的に料金の見直しをする必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	令和元年度から実施していた、低区配水池増設工事が完了した。また、上水道管理事務所では耐用年数が経過した電気・機械設備等の更新工事に着手した。	④今後の改善計画	アセットマネジメントの見直しを実施し、経営基盤の強化に努めながら施設の延命化、投資の平準化等計画的な事業の推進を図る。民間活力の活用を図り包括的民間委託の導入し、官民連携による事業運営を目指す。